

提出 順番	No. 2	平成 28 年 11 月 22 日 午前・ <u>午後</u> 4 時 10 分受領
----------	----------	---

平成 28 年 11 月 22 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 地域で働きやすい「生きがい就労」の推進を</p>	<p>日本は今後、少子高齢化が急速に進むことから、元気な高齢者や若者、女性、障がい者など、働ける人みんなで社会を支えていくという、全員参加型の社会に移行していくことが期待されます。</p> <p>会社を定年退職した後も、働く意欲を持った高齢者は少なくありません。こうした現状から、高齢者の就労促進の一環として、企業に対して60歳で定年になった社員の希望者全員を65歳までの継続雇用を義務付ける「高年齢者雇用安定法」が平成25年4月に施行されました。</p> <p>このように高年齢者の雇用は拡大する方向を示している状況の中、本町における高年齢者雇用の支援状況について伺います。</p> <p>①高齢者が就職を希望する場合の現状（求職者数と就職件数）について</p> <p>②高齢者が地域社会に貢献することを目的に取り組まれている「幕別町高齢者就労センター」の会員数、就業形態について</p> <p>③町内の企業等との高年齢者雇用の連携体制は</p> <p>④団塊の世代が退職している中、活躍の場を早期に整備する必要性が求められるが、今後の事業計画について</p>

2 「幕別町応援大使」
事業の継続を

日本ハムファイターズの大谷選手、市川選手が幕別町応援大使として1年間、色々な場面で我が町「幕別町」の宣伝役として大活躍していただきました。その経済効果は極めて大きなものがあったと思われま

す。しかし、残念ながら日本ハム応援大使の期間も本年末までの1年間ということで、終わりに近づいているのが現状であります。そこで、町のPRを継続して実施するための次なる方策を講じるべきと考えます。

幕別町には5人のオリンピック出場選手がいます。この5人の人材は町の宝であり、この素晴らしい宝を財産と捉え、町の宣伝に協力いただく努力をすべきではないでしょうか。

2020年東京オリンピックの開催が決定され、準備が進められています。

今現在、山本幸平選手は十勝の観光大使として、世界のあらゆる場面で名刺を配り十勝をアピールしているとのこと

です。そこで、この事業の今後の方向性、計画についてお伺いします。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。